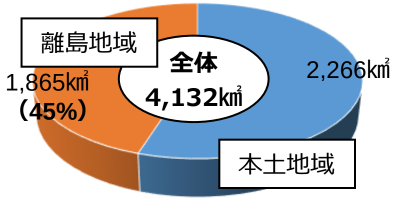
令和6年度長崎県職員オンライン説明会用資料
（農 業 職）

長崎県農林部

長崎県の農林業・農山村の特徴

○長崎県では、**離島・半島や中山間地域**が多く、大消費地から離れている地理的条件の中、**地域の特性を活かした多様な農林業**が展開。
○農業産出額はR４年1,504億円・全国23位。全国順位上位の品目　びわ、ばれいしょ、いちご、ガーベラなど多数。

面積区分



農地の傾斜地割合

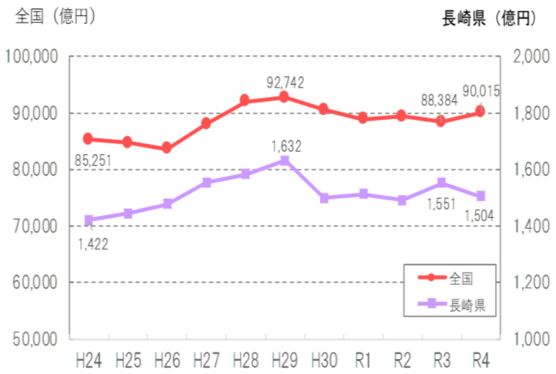
傾斜度比率	全国	長崎県
水田１/20以上	14%	48%
畑15度以上 （樹園地除く）	4%	9%

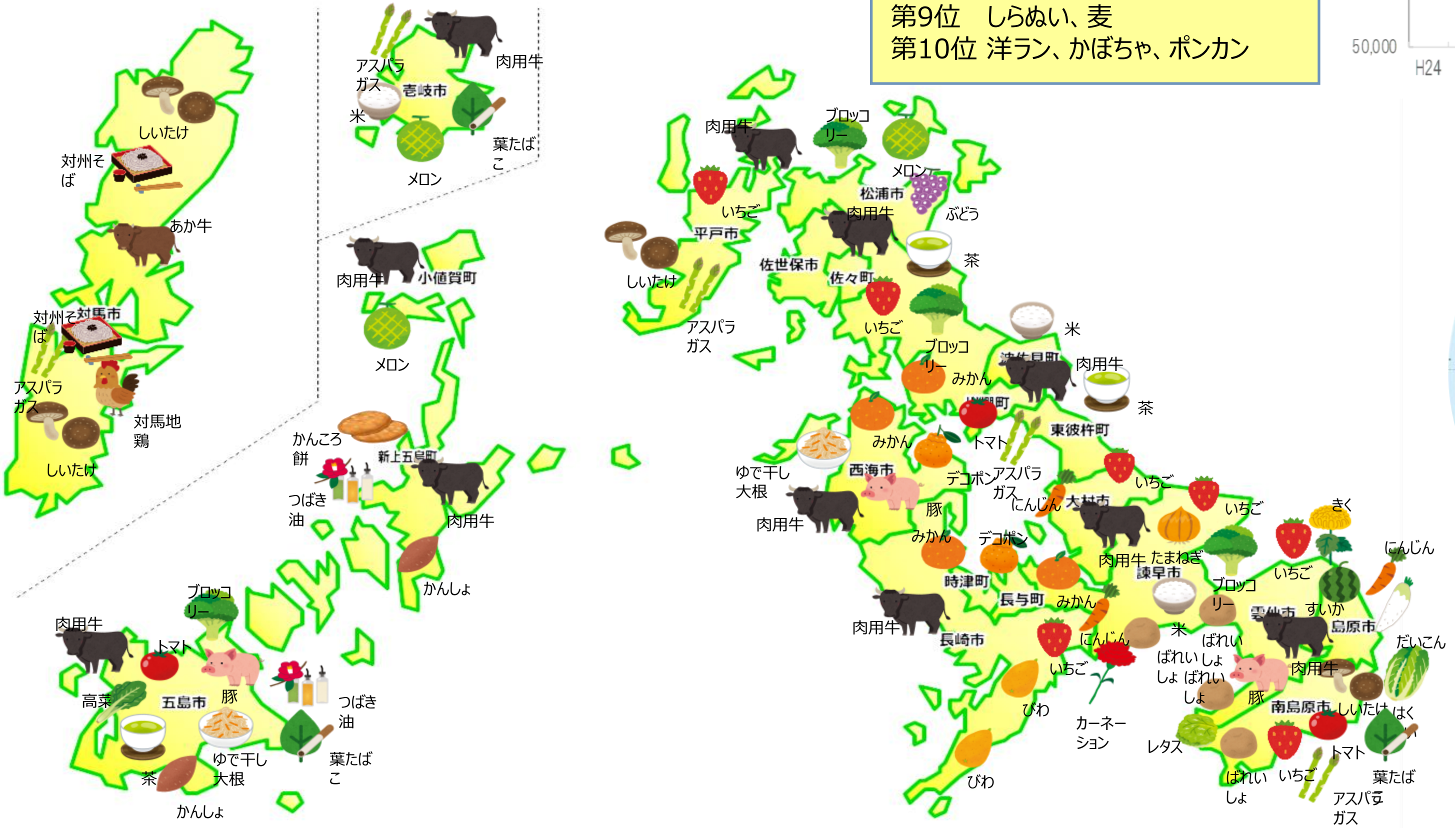
農業産出額全国トップ10に入る品目（R4）

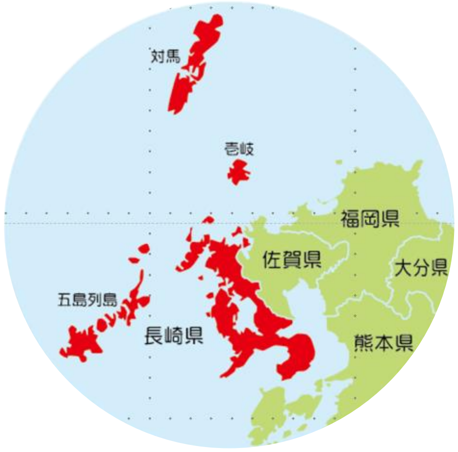
24品目

全国順位
第1位　びわ
第3位　ばれいしょ、葉たばこ
第4位　いちご、たまねぎ、ガーベラ
第5位　肉用牛、きく、にがうり
第6位　みかん、にんじん、ｶｰﾈｰｼｮﾝ
第7位　ブロッコリー、レタス、ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ、はくさい、そらまめ
第8位　さやえんどう、スターチス、
第9位　しらぬい、麦
第10位 洋ラン、かぼちゃ、ポンカン

農業産出額の推移





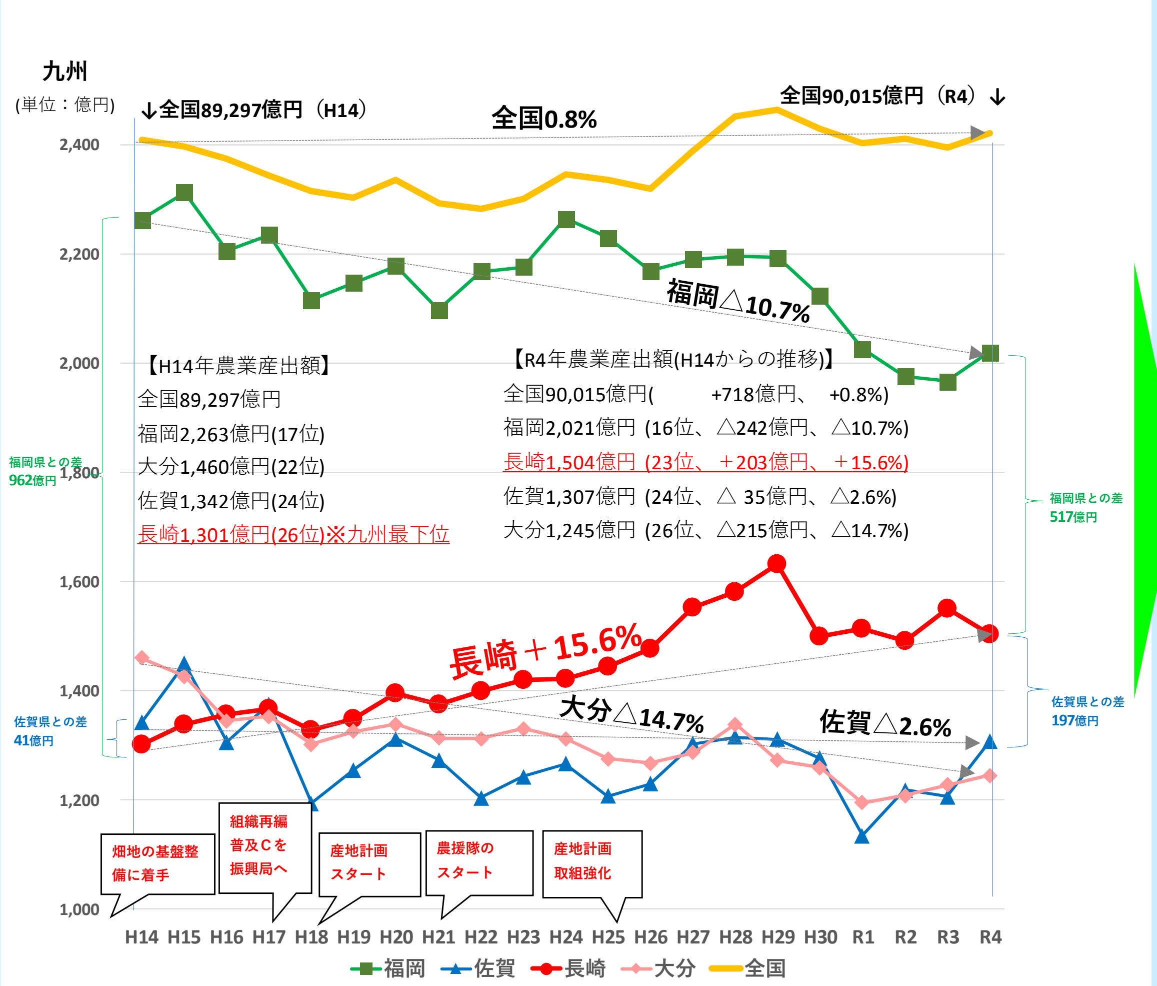


これまでの施策の成果（長崎県の農業産出額の推移）

伸びている長崎県の農業産出額（全国、北部九州４県との比較）

【農業産出額の推移】

- ●本県の農業産出額は、この２０年で全国が横ばいで推移する中で増加
- ●H14年時点では、耕地面積が同程度である佐賀県、大分県よりも低位であったが、H18年には２県を追い越し、その後も差が拡大
- ●R4年では、肉用牛などの「畜産」、「野菜類」で前年より増加したが、本県主要品目のばれいしょ価格の低下、みかん収穫量が裏年で減少したことから前年より減少。
- ●H１４時点での福岡県との962億円の差が、R4年では517億円まで縮小

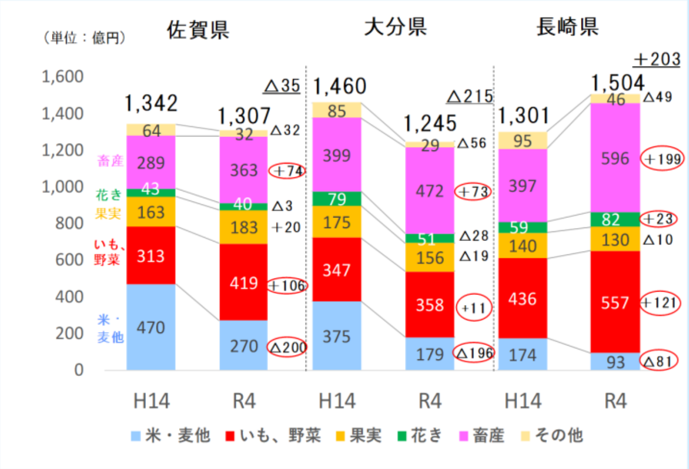


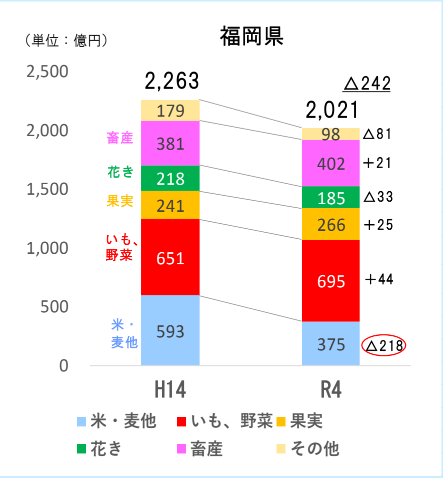
※生産農業所得統計

農業産出額内訳の分析

【各県の農業産出額内訳】

- ●H１４年とR4年の各県農業産出額の内訳をみると近隣３県は「米・麦他」の減少が大きく、「畜産」は増加している
- ●本県は「米・麦他」は減少しているものの、「野菜」、「畜産」の増加が顕著であり、産出額全体も増加している





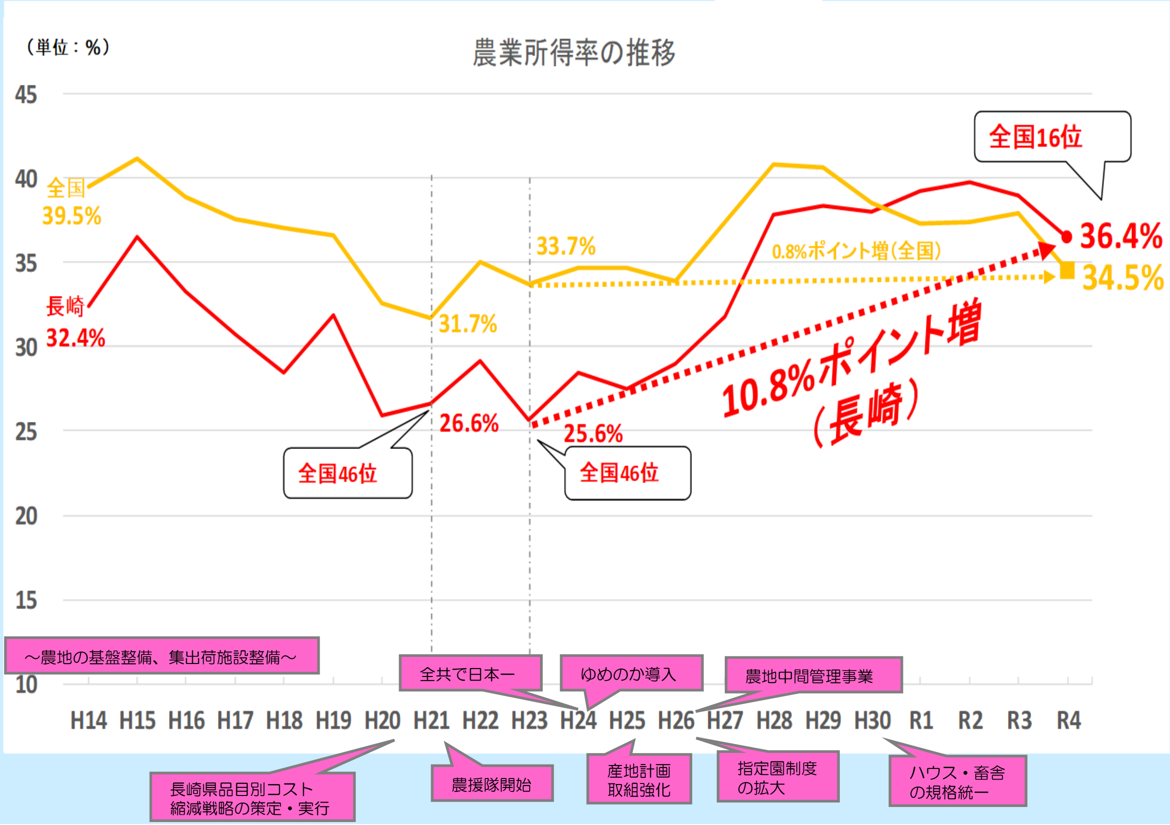
※生産農業所得統計

これまでの施策の成果（長崎県の農業所得率の推移と新規自営就農者）

伸びている長崎県の農業所得率

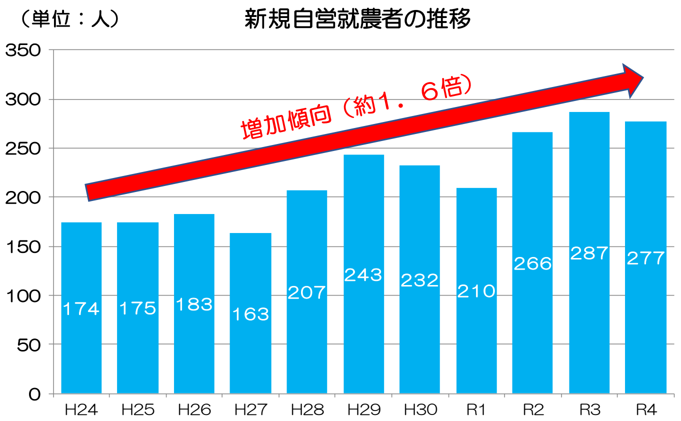
【農業所得率（農業産出額に占める生産農業所得の割合）の推移】
○本県の農業所得率は、平成20年代前半は農産物価格の低下や資材価格の高止まりなどにより全国最低レベル（46位）まで低下したが、各種施策の効果により、産出額と同様に年々増加し、令和４年では36.4%で全国１６位（令和元年では39.2%で全国１０位）

○この要因は、品目別・地域別に、規模拡大や多収化、高単価化、低コスト化等に取り組んだ結果と思料
- ●畜産：畜産クラスター事業及び繁殖・肥育牛導入事業（規模拡大）、全共での日本一（高単価化）
- ●露地野菜：農地の基盤整備と農地集積、集出荷施設整備及び農援隊（規模拡大）
- ●施設野菜（いちご）：新品種（ゆめのか他）の導入、環境制御技術（多収化、高単価化）
- ●果樹（みかん）：指定園制度とシートマルチ栽培の推進によるブランド強化で単価日本一（高単価化）

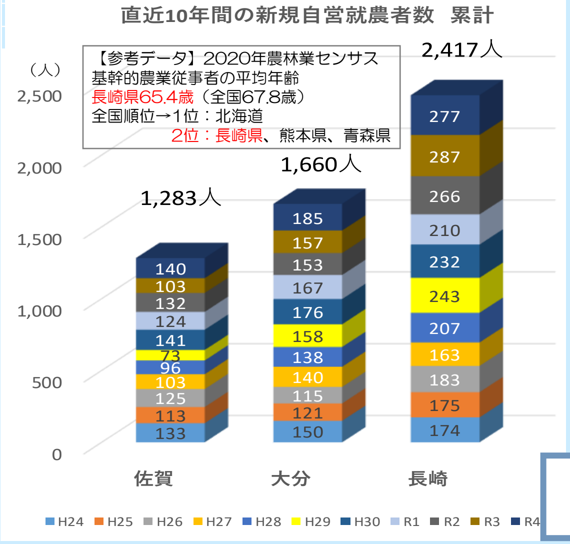


伸びている長崎県の新規自営就農者

【新規自営就農者の推移】
○新規自営就農者の推移でも、農業産出額や農業所得率の向上により年々増加しているものの、産地維持に必要な水準（年目標313名）までは至っておらず、更に儲かる姿を見せ、労働環境の改善など「選ばれる農業」の実現を図る必要がある。



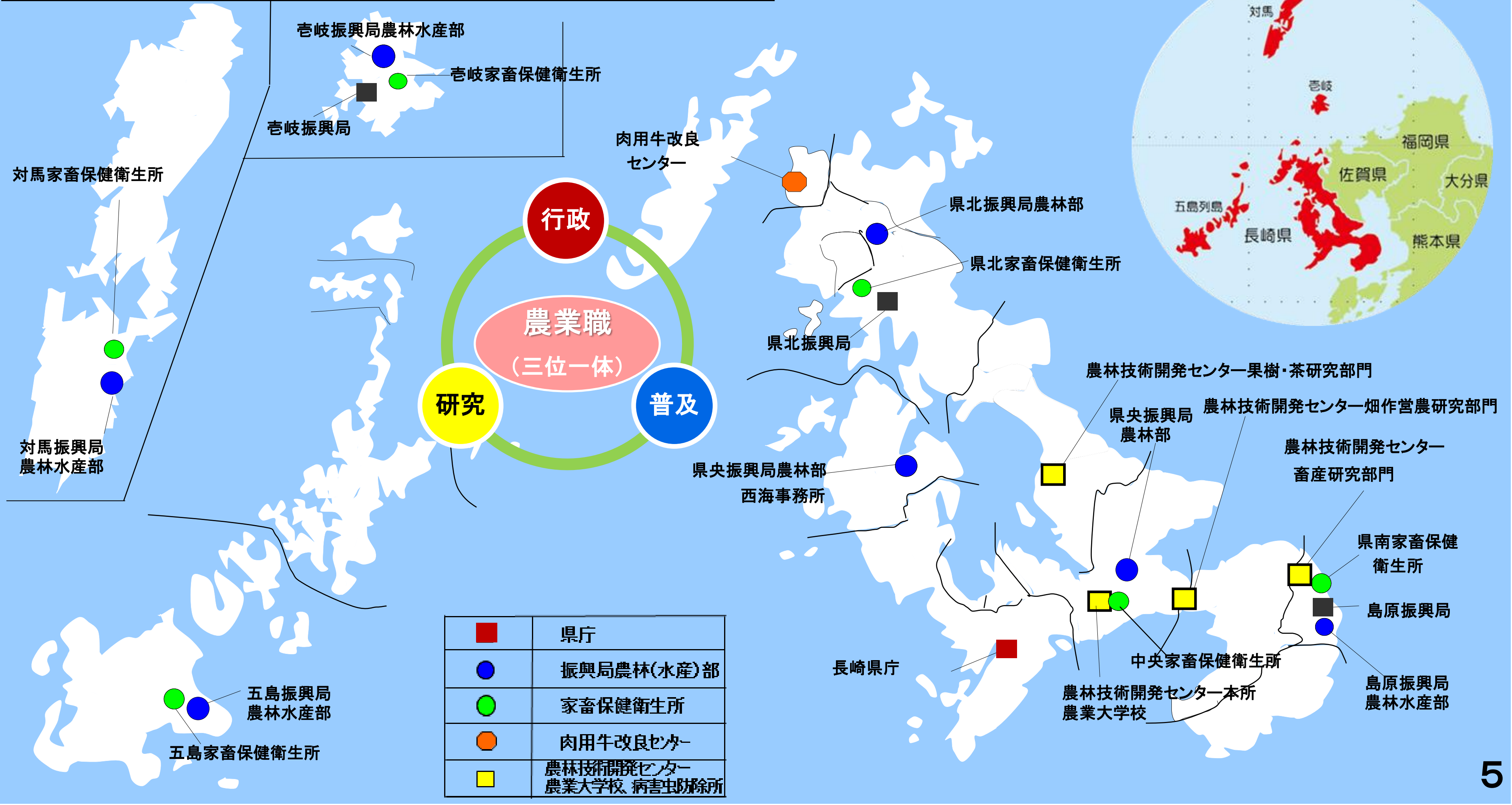
【新規自営就農者数　近隣県との比較】



長崎県農林部の組織および位置図

長崎県職員（農業職）って普段どんな仕事をしているのだろう？
長崎県庁ってどんなところだろう？　そんな疑問にお答えします！

長崎県庁の主要機関（農林部）の位置図



長崎県庁　農林部（行政部門）のご紹介

長崎県庁農林部（９課３室）

部長 ― 次長

- **農政課**：長崎県農林業の発展のための企画、旗振り、総合調整役
- **農業イノベーション推進室**：農業のグリーン化、スマート化の推進
- **農山村振興課**：暮らしやすい農山村の実現、移住、定住を推進
- **農業経営課**：農業後継者の育成、ＵＩターン対策、外国人など労力対策を実践
- **農産園芸課**：米、施設野菜、露地野菜、花き、茶などもうかる園芸作物の推進
- **農産加工流通課**：県産農畜産物の流通対策、海外への輸出、6次産業化、加工の推進
- **畜産課**：長崎和牛、豚、採卵鶏、ブロイラーなど、もうかる畜産経営の推進
- 団体検査指導室
- 農村整備課
- 諫早湾干拓課
- 林政課
- 森林整備室

2018年に新庁舎を建設（左：長崎県庁、右：県警察本部

ばれいしょ選果施設（諫早市）

外国人雇用による収穫作業

長崎県認証加工品「長崎四季畑」

ドローンによる防除

現地スーパーでの販促（アメリカ）

長崎県庁　農林部（研究部門）のご紹介

農林技術開発センター（７部門）

農林技術開発センター本場
（諫早市貝津）

部門	内容
研究企画部門	試験研究の総合企画、調整及び研究職員の研修
畑作営農研究部門	諫早湾干拓地における大規模環境保全型農業技術の開発 暖地２期作ばれいしょ品種の育成と栽培技術の開発
農産園芸研究部門	水稲、野菜等の品種選定・栽培技術の開発 花き・いちご等の品種育成
果樹･茶研究部門	ビワ・かんきつの品種育成、省力・低コスト生産技術の開発 茶栽培技術の開発、茶葉を利用した機能性食品の開発
環境研究部門	環境保全型農業に関する研究、地力の維持増進技術の開発 病害虫の生態解明と制御技術の開発、総合的防除管理技術の開発
畜産研究部門	肉用牛等の飼養管理技術の開発、飼料作物・草地関連技術の開発
森林研究部門	

カーネーション萎凋細菌病
抵抗性品種「ももかれん」

ロボット技術による
スマート農業実証

天敵を利用した害虫管理技術の開発

茶葉と青ミカン混合揉捻した
ミカン混合発酵茶

大果で良食味のビワ品種
「なつたより」

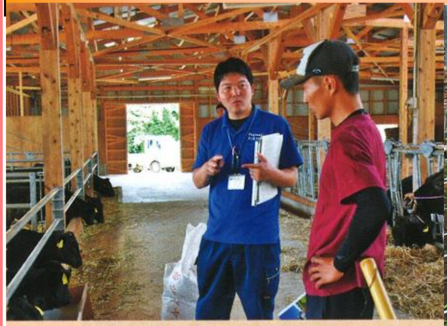
有機質肥料等の施用技術確立

統合環境制御によるトマトの多収栽培技術の開発

各地域振興局（普及指導員）のご紹介

普及指導員は、地域農業の主役である農業者をサポートしています

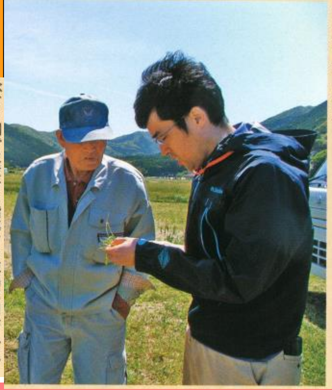
畜産、野菜


繁殖牛舎で生産者に指導する山下技師（左）

トマトの栽培指導を行う岡島主任技師（左）

農産、花き、茶

ぶどう園で生産者に指導する徳嶋専門幹（右）


水稲苗の生育状況を生産者に説明する岩永主任技師（右）

集落支援、担い手、経営指導

新規就農者の営農計画作成支援を行う田畑主任技師（中央）

集落リーダーと土地の利用について協議

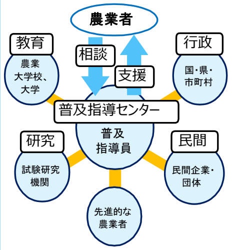
パソコンを使った経営簿記の指導

農業人材の確保・育成 産地の形成

- 品質向上のための技術講習会
- 新規就農者への巡回指導

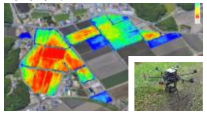
地域農業のコーディネート

教育機関、試験研究機関、民間、行政と連携を図りながら農業者への指導、相談を行います



新技術の現場定着

ドローンによるリモートセンシング

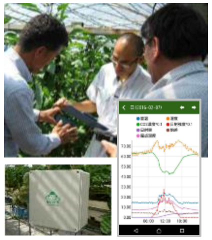


新品種の導入

新品種　なつほのか

カーネーション新品種「ももかれん」

ハウス環境モニタリング装置でデータを「見える化」



その他の取り組み

- 営農計画づくりの相談対応
- 気候変動に対応した農業の推進
- 鳥獣被害防止に向けた支援
- 自然災害への備えや営農再開に向けた支援

及指導員は国家資格を有する都道府県の職員です。農業現場の最前線で、農業技術を核に農業者の経営力向上を図る活動行っています。

若手職員のお仕事紹介①

中村さん　平成28年度入庁（９年目）

あなたのこれまでの仕事は？

（行政）農産園芸課　花き特産班　時代

農業というと米や野菜、果物などの栽培をイメージしますが、私が担当する花きも農作物にあたります。長崎県では年々、花きの産出額が伸びており、令和２年度の目標は１００億円！その達成のため、品質向上に向けたハウスの導入支援、新しい生産技術や品種の普及、輸出の拡大といった取り組みを支援しています。全国的に評価が高いのは菊やカーネーション、トルコギキョウ。長崎県には意欲的な若手生産者が多いので、サポートにも力が入ります。

皆さんへのメッセージ

花というと華やかなイメージがありますが、ほかの農作物と同じで気象条件などさまざまな要因に左右されます。うまくいかないこともありますが、その分、成果が出て生産者から感謝されたときは喜びもひとしお。暑い時も寒い時も休みなく働く生産者を一緒に支援しましょう。

若手職員のお仕事紹介②

竹尾さん

平成28年度入庁
（９年目）

あなたのこれまでの仕事は？

（行政）農産園芸課　環境班　時代

全国でも高く評価されているビワやイチゴといった長崎県産の農産物。安定的に生産するためには病害虫対策が欠かせません。

その病害虫対策に広く使用されているのが農薬です。農薬は優れた資材である一方、使用法を誤ると人や動物、周辺の環境にまで危害を及ぼす恐れがあります。消費者にとって食の安心安全は当たり前のこと。それが損なわれれば、長崎県産の農産物に対するイメージダウンは避けられません。農薬の適正使用の推進を強化し、消費者から「選ばれる長崎県」を目指しています。

皆さんへのメッセージ

農業職といっても業務内容はさまざま。行政や試験研究、現場での指導など多岐にわたります。異動した先々で業務内容が変わることもありますが、私たちが行うすべての仕事は生産者のため、長崎県の農業発展のために必要不可欠。農業分野のスペシャリストとして一緒に長崎県の農業を盛り上げましょう！

若手職員のお仕事紹介③

吉冨さん　平成30年度入庁（７年目）

あなたのこれまでの仕事は？

（研究）農林技術開発センター　花き・生物工学研究室　時代

長崎県は、花の生産も盛んな地域。なかでもカーネーションは全国6位の出荷量を誇ります。しかし近年、萎凋細菌病をはじめとする土壌病害の多発が大きな問題に。そこで私はDNAマーカーを用いたカーネーション萎凋細菌病抵抗性品種の選抜や、土壌中の病原菌密度を正確に測定する手法の開発を行っています。
試験研究はすぐに結果が出ませんが、研究の成果が実を結び、美しい花を咲かせられるよう生産者にフィードバックしていきたいです

皆さんへのメッセージ

長崎県は独特の地形を生かしながら農業を行っているのが魅力。大学で学んだ知識を少しでも地元である長崎県のために役立てたいという思いから県職員に。農業職は、行政、研究、普及といろいろな方向から生産者を支えることができます。さらに各振興局は生産者との関係がぐっと密に。経験豊富な先輩たちにも教わりながら、いろいろなことを学んでいけます。一緒に長崎県の農業を盛り上げていきましょう。